

リンゴの慣行防除園におけるフツウカブリダニ成虫に対する殺虫剤及び殺ダニ剤の影響



ハダニ類の有力な土着天敵としての役割が期待されているカブリダニ類に対して、慣行防除で使用されている有機リン剤や合成ピレスロイド剤などの殺虫剤は影響が大きいとされています。しかし近年、慣行防除園においてカブリダニ類が観察されるようになってきたことから、カブリダニ類の1種であるフツウカブリダニに対する殺虫剤及び殺ダニ剤の影響を明らかにしました。

1 カブリダニ類とは？



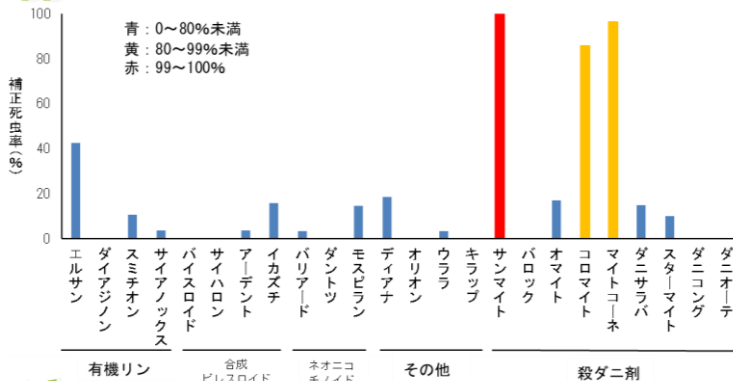
フツウカブリダニ成虫

- ・ハダニ類を捕食する土着天敵です。
- ・体長約0.4mmで色は乳白色～黄褐色です。
- ・青森県内の慣行防除園ではフツウカブリダニが広く確認されています。

県内の慣行防除園におけるフツウカブリダニの発生盛期の状況

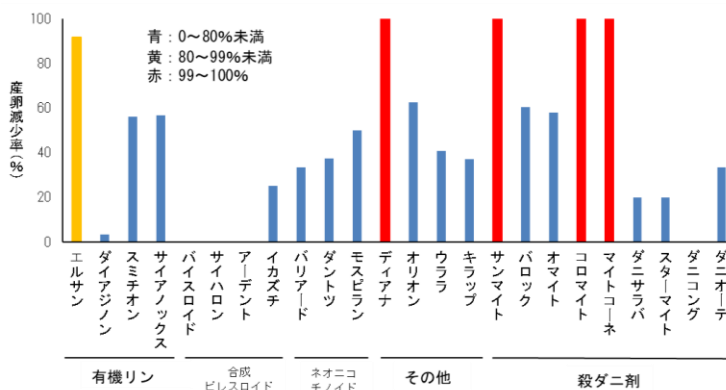
採集地	30葉当たり 個体数	時期	採集地	30葉当たり 個体数	時期
青森市浪岡1	8	8月下旬	平川市金屋	17	7月下旬
青森市浪岡2	18	9月下旬	弘前市大沢	16	9月下旬
板柳町板柳	20	8月下旬	弘前市下湯口	6	7月下旬
板柳町夕顔関	10	8月下旬	弘前市糠坪	8	9月下旬
黒石市三島	8	9月下旬			

2 フツウカブリダニ成虫の生存に対する影響



雌成虫に対して、有機リン剤や合成ピレスロイド剤を含む殺虫剤15剤は影響が小さいことがわかりました。殺ダニ剤のうちサンマイト水和剤、コロマイト乳剤、マイトコーネフロアブルの影響は大きいですが、これら3剤以外は影響が小さい結果となりました。

3 フツウカブリダニ成虫の産卵に対する影響



雌成虫の産卵に対して、有機リン剤は全般的に影響が小さいですが、エルサン水和剤は影響が大きく、ディアナWDGも影響が大きいことがわかりました。殺ダニ剤のうち、サンマイト水和剤、コロマイト乳剤、マイトコーネフロアブルの影響は成虫の生存に対して影響が大きかったため、産卵に対しても影響が大きい結果となっています。



非選択性殺虫剤（有機リン剤、合成ピレスロイド剤）に対して薬剤感受性が低下した（農薬が効かなくなっている）個体の割合が増えてきたと考えられます。

